

商工建設常任委員会資料

令和5年9月21日

商工観光労働部

目次

1. 予算議案

(ページ番号)

- 議案第1号 令和5年度宮崎県一般会計補正予算(第3号) 03-11

2. 特別議案

- 議案第3号 使用料及び手数料徴収条例の一部を改正する条例 12
- 議案第6号 公の施設に関する条例の一部を改正する条例 13

3. 報告事項

- 県が出資している法人等の経営状況について
 - ・公益財団法人宮崎県機械技術振興協会 14
 - ・公益財団法人宮崎県産業振興機構 15
 - ・公益財団法人宮崎県観光協会 16
 - ・公益財団法人宮崎県国際交流協会 17

4. その他報告事項

- 県営国民宿舎等の次期指定管理候補者の募集結果について 18
- 宮崎県人会世界大会の開催について 19-22

1 予算議案

【議案第1号】
令和5年度宮崎県一般会計補正予算（第3号）（歳出予算）

商工観光労働部

○各課補正予算額一覧

（単位：千円）

課	令和5年度			詳細
	補正額	補正前の額	補正後の額	
商工観光労働部	123,465	66,701,065	66,824,530	
一般会計	123,465	65,975,092	66,098,557	
商工政策課	0	57,184,139	57,184,139	
企業振興課	46,792	2,404,729	2,451,521	P4～P5
雇用労働政策課	3,391	1,411,843	1,415,234	P6～P7
企業立地課	0	1,083,851	1,083,851	
観光推進課	73,282	2,795,953	2,869,235	P8～P11
国際・経済交流課	0	1,094,577	1,094,577	
特別会計	0	725,973	725,973	
商工政策課	0	686,688	686,688	
観光推進課	0	39,285	39,285	

1 予算議案（企業振興課）

(単位：千円)

会計、科目、事項	令和5年度					令和4年度		
	補正額	財源内訳			補正前の額	補正後の額	当初予算額	最終予算額
		国庫支出金	その他特定	一般財源				
(会計) 一般会計	46,792	0	35,000	11,792	2,404,729	2,451,521	1,880,966	1,978,184
(款) 商工費	46,792	0	35,000	11,792	2,404,729	2,451,521	1,880,966	1,978,184
(項) 工鉦業費	46,792	0	35,000	11,792	2,384,760	2,431,552	1,864,851	1,962,073
(目) 工業試験場費	46,792	0	35,000	11,792	384,677	431,469	324,983	306,544
(事項) 工業技術センター総務管理費	46,792	0	35,000	11,792	316,568	363,360	257,912	248,936
		県債	35,000					

(説明) 工業技術センターの運営管理等に要する経費（具有施設の緊急補修に伴う補正）

1 工業技術センター運営管理費

46,792

1 予算議案（雇用労働政策課）

(単位：千円)

会計、科目、事項	令和5年度					令和4年度		
	補正額	財源内訳			補正前の額	補正後の額	当初予算額	最終予算額
		国庫支出金	その他特定	一般財源				
(会計) 一般会計	3,391	0	0	3,391	1,411,843	1,415,234	1,470,360	1,169,548
(款) 労働費	3,391	0	0	3,391	1,411,843	1,415,234	1,470,360	1,169,548
(項) 職業訓練費	3,391	0	0	3,391	1,066,489	1,069,880	1,006,961	840,337
(目) 職業訓練校費	3,391	0	0	3,391	712,457	715,848	674,638	520,633
(事項) 県立産業技術専門校費	3,391	0	0	3,391	712,457	715,848	674,638	520,633

(説明) 県立産業技術専門校において職業訓練等を実施し、技能労働者を養成するとともに、離職者等の雇用の促進を図るために要する経費
(県有施設の緊急補修に伴う補正)

1 施設管理費

3,391

1 予算議案（観光推進課）

(単位：千円)

会計、科目、事項	令和5年度					令和4年度		
	補正額	財源内訳			補正前の額	補正後の額	当初予算額	最終予算額
		国庫支出金	その他特定	一般財源				
(会計) 一般会計	73,282	0	64,882	8,400	2,795,953	2,869,235	2,149,663	6,002,169
(款) 商工費	73,282	0	64,882	8,400	2,795,953	2,869,235	2,149,663	6,002,169
(項) 観光費	73,282	0	64,882	8,400	2,795,953	2,869,235	2,149,663	6,002,169
(目) 観光費	73,282	0	64,882	8,400	2,795,953	2,869,235	2,149,663	6,002,169
(事項) スポーツランド みやざき推進事業費	73,282	0	64,882	8,400	421,904	495,186	237,723	370,292
		繰入金	64,882					

(説明) スポーツランドみやざきを推進するために要する経費（宮崎再生・未来創造の加速化に伴う補正）

- | | | | |
|---|---|---------------------|--------|
| ① | 1 | スポーツキャンプ・合宿全県展開促進事業 | 18,000 |
| | 2 | プロチームキャンプ受入強化事業 | 55,282 |

スポーツキャンプ・合宿全県展開促進事業

観光推進課 スポーツランド推進室 18,000千円(補正後101,566千円)
【補正財源:宮崎再生基金】

事業の目的

スポーツキャンプ・合宿の全県化を目的に取り組むことで、新たなキャンプ・合宿誘致やそれに伴う県外からの誘客数の増加を図り、経済効果を県内全域に波及させる。

事業の概要

(1) 事業内容

- ① 市町村受入施設等の環境整備への支援（補助率1/2又は1/3、補正額18,000千円）
・来春のプロ野球キャンプの受入れに不可欠な施設整備を実施する市町村へ緊急に補助する。
（都城市、日向市、日南市）
- ② スポーツキャンプ等受入広域化支援
- ③ 国内外代表合宿の受入支援
- ④ 屋外型トレーニングセンターなどへの誘致セールス等

(2) 事業の仕組み

- ① 県  市町村 ② 県  県観光協会等
- ③ 県  国内外代表合宿受入実行委員会 ④ 県

(3) 成果指標

県外からのキャンプ・合宿延べ参加者数

(R3年度) 12万8,578人 → (R7年度) 22万5,000人

事業の期間

令和5年度～令和7年度

新 プロチームキャンプ受入強化事業

観光推進課 スポーツランド推進室 55,282千円
【財源:宮崎再生基金、一般財源】

事業の目的

本県で実施のプロ野球、Jリーグ、リーグワンのプロのキャンプにおける誘客対策や環境の充実化などキャンプの受入強化を図ることで、交流人口を増加させ、飲食等消費、宿泊客増に繋げる。

事業の概要

(1) 事業内容

- ① サッカー春季キャンプ強化試合実施事業 9,782千円
 - ・開催日程 令和6年1月末(2日間)
 - ・場 所 県総合運動公園陸上競技場、屋外型トレーニングセンター(トレセン)等
 - ・チーム数 6チーム程度
- ② トレーニング機器整備・支援事業 37,100千円
 - ・様々な競技で利用される汎用性の高い機器をトレセンに整備
 - ・ラグビーなどプロチームが持ち込むトレーニング器具の輸送経費を補助(補助率1/2)
- ③ 県有スポーツ施設環境整備事業 8,400千円
 - ・サンマリンスタジアム等におけるキャンプに対応するために必要かつ効果的な芝の維持管理等

(2) 事業の仕組み

① 県  県観光協会等、県 ② 県  県観光協会  チーム ③ 県  民間事業者

(3) 成果指標

春季キャンプ延べ観客数(令和4年度) 85万8,800人 → (令和7年度) 100万人

事業の期間

令和5年度

2 特別議案

【議案第3号】 使用料及び手数料徴収条例の一部を改正する条例

観光推進課 スポーツランド推進室

1 改正の理由

屋外型トレーニングセンターについて、供用開始後の使用状況等を踏まえ、新たに料金を設定する必要が生じているため。

2 改正の内容

(1) サッカー・ラグビー場、多目的グラウンド

1時間単位での料金徴収を新設する。

(従前は、4時間及び8時間を基本単位としていた。)

【参考】

施設名			サッカー・ラグビー場	多目的グラウンド
料金区分	8時間を 超え1時間を増すごとに	全面	1,190円	1,120円
		半面	600円	560円

(2) シャワー室

一人1回あたり200円（水道光熱費の利用者応分負担）

(3) 広告フェンス

・対象施設名を「広告フェンス」から「広告掲出場所」に改める。

・「一時的に掲出するもの」について、0.1㎡あたり日額30円を新たに設定。

3 施行期日

公布の日から施行する。

2 特別議案

【議案第6号】 公の施設に関する条例の一部を改正する条例

観光推進課 スポーツランド推進室

1 改正の理由

屋外型トレーニングセンターについて、供用開始後の利用状況等を踏まえ、新たに料金を設定する必要が生じているため。

2 改正の内容

- (1) サッカー・ラグビー場、多目的グラウンド
1時間単位での料金徴収を新設する。
(従前は、4時間及び8時間を基本単位としていた。)

【参考】

施設名			サッカー・ラグビー場	多目的グラウンド
料金 区分	8時間を 超え1時間を増すごとに	全面	1,190円以下	1,120円以下
		半面	600円以下	560円以下

- (2) シャワー室
一人1回あたり200円上限（水道光熱費の利用者応分負担）

3 施行期日

公布の日から施行する。

3 報告事項

公益財団法人宮崎県機械技術振興協会の概要

企業振興課

1 役割等

(1)目的

機械金属工業の技術指導、調査研究等を行うことにより、本県機械金属工業の振興に寄与することを目的とする。

(2)設立年月日

昭和54年2月17日

(3)出資状況

基本財産 300万円（うち県出資額 150万円、出資割合 50%）

2 事業内容

宮崎県機械技術センターの指定管理者として、機械金属関連企業を対象に、主に以下の事業を行っている。

※ 指定期間：①平成18～20年度、②21～25年度、③26～30年度、④令和元～5年度

(1)技術支援

技術指導、機械設備の取扱研修 等

(2)設備利用

各種工作機械、試験検査設備 等

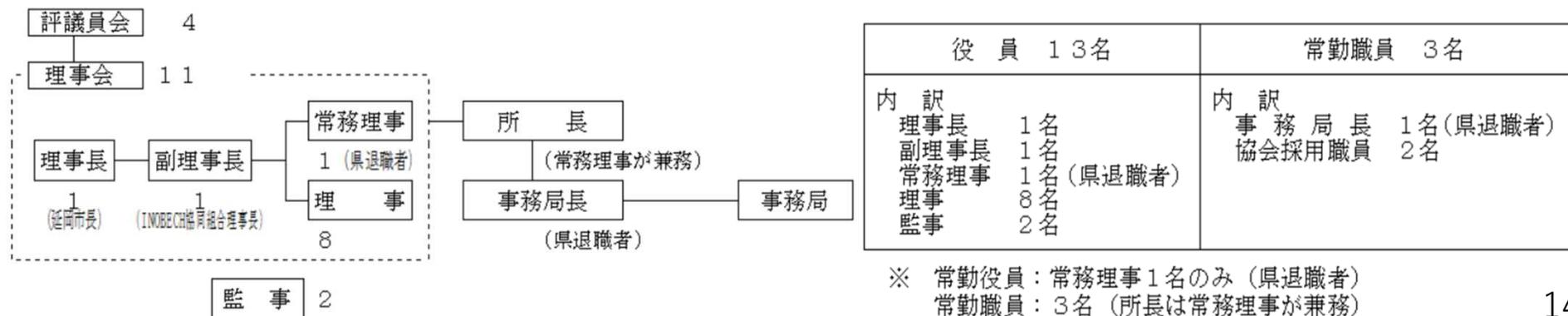
(3)依頼試験

金属材料試験、コンクリート強度試験 等

(4)試験研究

企業との共同研究

3 組織等（令和5年4月1日現在）



3 報告事項

公益財団法人宮崎県産業振興機構の概要

企業振興課

1 役割等

(1)目的

県内中小企業における、経営基盤強化、経営の革新、技術の高度化及び新事業の創出並びに関係組織・機関との連携の推進等に資する事業を行うことにより、本県産業の振興を図るとともに活力ある地域社会の形成に寄与すること。

(2)設立年月日

昭和59年1月17日

(3)出資状況

総出資額 9,300万円（うち県出資額 1,400万円、出資割合 15.1%）

2 事業内容

上記1(1)の目的を実現するため、下記(1)から(6)の事業を実施。

(1)経営課題等に対する相談、助言に関する事業

(2)新事業の創出、新分野への進出等に対する助成に関する事業

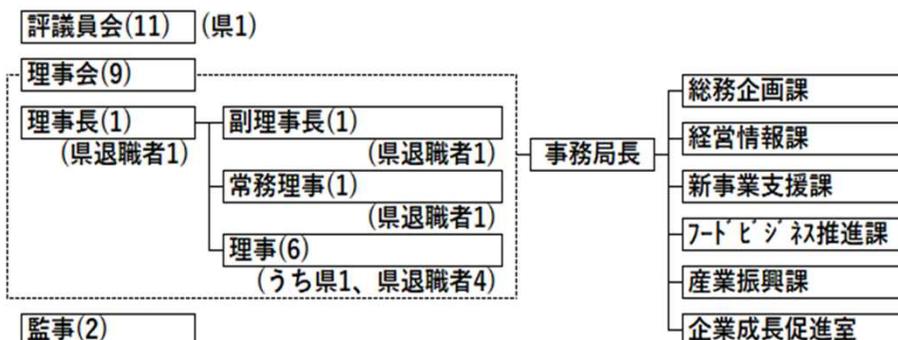
(3)経営基盤強化に資する取引振興、設備導入等に関する事業

(4)産業振興に資する情報の収集、分析及び提供に関する事業

(5)産業振興に資する人材の育成に関する事業

(6)産業振興の基盤づくりに資する人的、技術的ネットワークの強化及び高度化等に関する事業

3 組織等（令和5年4月1日現在）



役員 11名		常勤職員 20名	
内 訳		内 訳	
理事長	1名(県退職者)	県派遣職員	12名
副理事長	1名(県退職者)	県退職者	5名
常務理事	1名(県退職者)	プロパー	1名
理事	6名(うち県1、県退職者4)	企業等派遣	2名
監事	2名		

※ 常勤役員：3名(理事長、副理事長、常務理事(全て県退職者))
 常勤職員：20名(うち県派遣職員12名)

3 報告事項

公益財団法人宮崎県観光協会の概要

観光推進課

1 役割等

(1)目的

国内外の観光客、コンベンション及びスポーツ大会・合宿等の誘致並びに関係者に対する支援等を行うことにより、宮崎県内における観光の振興を図り、地域経済の活性化、文化の向上及び国際交流の促進に寄与する。

(2)設立年月日

平成16年4月1日

(3)出資状況

基本財産 28,000万円（うち県出資額 10,750万円、出資割合 38.4%）

2 事業内容

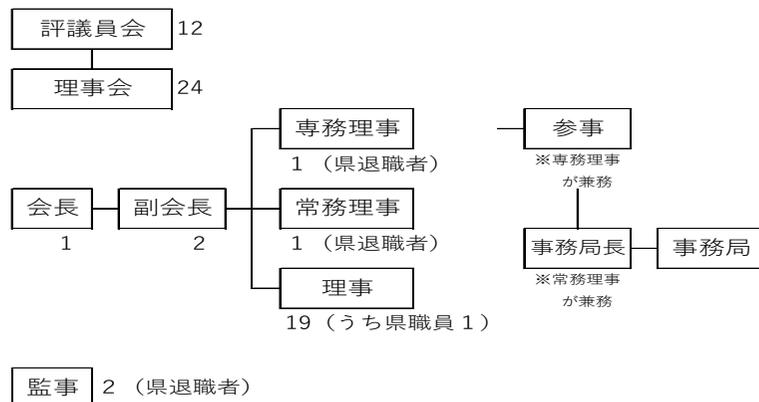
(1)国内外の観光客、MICE及びスポーツイベント等の誘致及び受入支援

(3)観光、MICE及びスポーツイベント等の広報及び宣伝、調査及び企画・開発

(2)MICE主催者に対する支援

(4)観光、MICE及びスポーツイベント等の誘致に必要な観光関連施設を運営する者に対する支援

3 組織等（令和5年4月1日現在）



役員 26名		常勤職員 25名	
内訳		内訳	
会長	1名	参事	1名 (県退職者)
副会長	2名	事務局長	1名 (県退職者)
専務理事	1名 (県退職者)	県派遣職員	5名
常務理事	1名 (県退職者)	県退職者	5名
理事	19名 (うち県職員 1)	協会採用職員	5名
監事	2名 (県退職者)	その他職員	8名

※ 常勤役員：常務理事、専務理事の2名（県退職者）
 常勤職員：25名（参事は専務理事、事務局長は常務理事が兼務）
 その他職員：（宮崎市派遣1名、民間企業派遣3名、嘱託・臨時4名）

3 報告事項

公益財団法人宮崎県国際交流協会の概要

国際・経済交流課

1 役割等

(1) 目的

多文化共生の社会づくりと県民の幅広い参加による国際交流活動を促進し、諸外国との相互理解や友好親善を深めることにより、宮崎県の国際化を図るとともに、地域の活性化にも寄与することを目的とする。

(2) 設立年月日

平成2年2月1日

(3) 出資状況

基本財産 5億4,360万円（うち県出資額 4億4,307万円、出資割合 81.5%）

2 事業内容

(1) 交流推進事業

県民と外国人のふれあい・交流の場を提供

(2) 情報提供事業

情報誌やホームページによる情報提供等

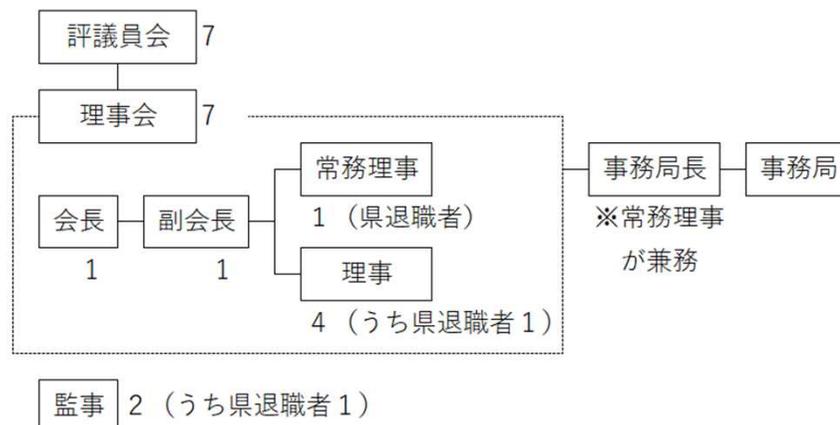
(3) 外国人住民支援事業

外国人住民等相談窓口の運営、地域における日本語教育の推進等

(4) 国際化推進事業

国際理解講座や国際交流・協力団体に対する支援等

3 組織等（令和5年4月1日現在）



役員 9名		常勤職員 9名	
内訳		内訳	
会長	1名	県派遣職員	2名
副会長	1名	嘱託職員	7名 (うち県退職者1)
常務理事	1名 (県退職者)		
理事	4名 (うち県退職者1)		
監事	2名 (うち県退職者1)		

※ 常勤役員：常務理事1名のみ（県退職者）

常勤職員：9名（事務局長は常務理事が兼務）

県営国民宿舎等の次期指定管理候補者の募集結果について

観光推進課

1 募集概要

(1) 期間 令和5年7月3日～9月4日

(2) 主な募集条件

- 指定期間 令和6年4月1日～令和11年3月31日（5年間）
- 県への納付金額
宿泊等売上を指定管理者自らの収入とすることができる利用料金制を採用
 - ・ 基本納付金年額 0円
 - ・ 追加納付金額 (収入－支出) × 1 / 2円

2 募集結果

(1) 県営国民宿舎高千穂荘

2者

(2) 県営国民宿舎えびの高原荘及び県営えびの高原スポーツレクリエーション施設(えびの高原2施設)

なし

3 えびの高原2施設に係る今後の対応

えびの高原2施設については、再公募を行うこととする。

○ 再公募スケジュール（予定）

令和5年11月中

再公募期間

12月中旬

指定管理候補者選定委員会による審査

12月下旬

指定管理候補者選定会議による確認

指定管理候補者の選定

令和6年2月（県議会定例会）

指定管理者指定議案の提出

⇒（議決後）指定管理者の指定、基本協定の締結

4月1日

新・指定管理者による業務開始

4 その他報告事項

宮崎県人会世界大会の開催について

国際・経済交流課

1 概要

(1) 目的

置県140年を記念し開催する「宮崎県人会世界大会」を通じて、国内外から参加した本県出身者に本県の魅力を再発見していただくとともに、国内外の県人会の活性化を図り、そのネットワークを活用した本県施策の更なる展開に繋げる。

(2) 日程

令和5年10月27日（金）～29日（日）

(3) 式典会場（27日）

シーガイアコンベンションセンター

(4) 参加人数 約700名以上

（内訳） 国内外県人会 約250名 県民 約300名 ほか

○海外県人会からの参加者 19県人会 約120名

ブラジル、アルゼンチン、パラグアイ、ロサンゼルス、ワシントン、ハワイ、ニューヨーク、トロント、イギリス、シンガポール、クアラルンプール、インドネシア、タイ、ハノイ、ホーチミン、香港、上海、ソウル、台湾

○国内県人会からの参加者 14県人会 約130名

札幌、千歳、千葉、東京、名古屋、京都、大阪、兵庫、広島、岩国、福岡、北九州、熊本、大分



宮崎県人会世界大会
Miyazaki Kenjinkai World Conference

その他報告事項 宮崎県人会世界大会の開催について

(5) 大会プログラム

国際・経済交流課

日 時		行 事	
27日 (金)	12:00 ～ 13:00	宮崎県人会長会議 〈3 F 瑞洋〉	宮崎県人会次世代会議 〈3 F 海峰〉
	13:30 ～ 14:30	記念式典 〈4 F サミットホール〉	
	14:40 ～ 15:30	記念コンサート 〈4 F サミットホール〉	15:00 ～17:30 伝統文化 体験コーナー 〈2F会議室〉
	15:45 ～ 15:55	記念写真撮影 〈3 F ホワイエ〉	
	16:00 ～ 17:00	海外県人会プレゼンテーション 〈3 F 海峰〉	
	17:30 ～ 19:30	歓迎レセプション 〈4 F ホール〉	
	12:30 ～17:30	市町村 PRブース 〈2F 初任〉	
	28日(土)～ 29日(日)		ふるさと巡りツアー コース：県北、県西、県央・県南 ※宮崎神宮御神幸祭

2 プログラムの主な内容

国際・経済交流課

(1) 宮崎県人会長会議

各県人会の会長が出席し、ふるさと宮崎との絆を強固なものとする大会宣言案を採択。

(2) 宮崎県人会次代会議

各県人会の次世代を担う若い世代の参加者等が出席し、県人会同士の連携を深めるほか、県人会の活性化等の諸課題について意見交換を実施。

(3) 記念式典

海外県人会の入場行進や神楽の演舞などを実施。記念品として神楽面、県産材を利用した顕彰楯を各県人会へ贈呈。大会宣言発表。

(4) 記念コンサート

県内の高校生や本県出身のアーティスト（米良美一、川越塔子）によるコンサート。



(5) 海外県人会プレゼンテーション

海外県人会による各国・地域の紹介、活動事例の報告。県人会同士の横の繋がりを深めながら、各県人会の情報を共有。

(6) 歓迎レセプション

太鼓演奏や本県出身の歌手（井手綾香）によるステージイベントを行うほか、食事については、県産食材を堪能できるメニュー等を提供。

その他報告事項 宮崎県人会世界大会の開催について

国際・経済交流課

(7) 市町村等PRブース

26市町村等が物産、観光誘客、移住定住などをPRするブースを設置。

(8) 伝統文化体験コーナー

本県が誇る伝統工芸品作りを体験し、郷土の文化に触れる機会を創出。

(9) ふるさと巡りツアー（28日～29日）

① 県北コース

道の駅北方よちみろ屋 ～ 天岩戸神社 ～ 高千穂神社 ～ 神楽宿（昼食）
～ 高千穂峡・真名井の滝

② 県西コース

都城NiQLL ～ 霧島ファクトリーガーデン（昼食） ～ 花の駅生駒高原

③ 県央・県南コース

青島神社 ～ 堀切峠・道の駅フェニックス ～ 鵜戸神宮 ～ 飫肥服部亭（昼食）
～ 小村寿太郎記念館 ～ 飫肥城下町

※各コースにおいて歓迎セレモニーの開催や、みやざき物産館KONNE訪問を予定



（高千穂峡）



（生駒高原）



（鵜戸神宮）